

平成28年度事業実績報告について

1 概 要

食品衛生巡回指導事業、食品、水質及び保菌等の検査勸奨事業、食品衛生思想普及事業、優良食品等推奨事業、会員の福利厚生事業など食品衛生の確保と業界発展向上を図るとともに県民の健康増進に寄与するための諸事業を県をはじめ各保健福祉事務所、中核市の郡山市及びいわき市保健所並びに日食協等関係団体のご指導と各地区食品衛生協会のご努力及び会員の積極的なご協力によりまして、次のとおり成果を上げることができました。

(1) 組織の現状

① 役員（平成29年4月1日現在）

会 長	1 名		
副会長	2 名		
理 事	9 名		
監 事	3 名	計	15 名

② 各地区食品衛生協会の状況

地 区	営業許可施設数	食品衛生指導員数	食品衛生責任者数 (累計養成者数)	地区職員数
福島県北	9,090	171	17,663	3
郡 山	6,440	63	14,089	2
県 中	3,858	185	6,562	2
県 南	3,197	77	5,923	2
会 津	6,513	97	13,583	2
南会津	1,156	16	1,843	1
相 馬	2,135	26	4,409	2
双 葉	372	21	2,354	1
いわき	7,159	131	16,989	2
県食協		1		
合 計	39,920	788	83,415	17

2 会議関係

(1) 公益社団法人 福島県食品衛生協会関係

開催年月日	会 議 名 等	会 場	備 考
H28.5.9	監査会	コラッセふくしま	平成27年度事業と決算の監査 (出席者：6名)

H28.5.12	第1回理事会	コラッセふくしま	通常総会付議事項等 (出席者：11名)
H28.6.1	平成28年度第3回通常総会	杉妻会館	平成27年度事業報告と決算、 平成28年度事業計画と予算等 (出席者：正会員9名ほか 計43名)
H28.6.15	平成28年度 食品衛生指導委員会	ビックパレット	平成28年度委員会 事業計画等 (出席委員：10名)
H28.6.15	食品衛生指導員研修会	ビックパレット	巡回指導の重点指導項目等 (出席者：42名)
H28.7.4	第2回理事会	コラッセふくしま	日食協会長等被表彰者推薦審査 今後の日程等 (出席者：12名)
H28.10.5	第3回理事会 (書面理事会)		当協会長表彰の被表彰者審査、 報告事項
H29.2.10	地区食品衛生協会職員研修会	ビックアイ (郡山市)	自主検査日程、食品衛生責任者 養成講習会、協議事項等 (出席者12名)
H29.3.15	第4回理事会	コラッセふくしま	平成29年度事業計画、予算等 (出席者15名)

(2) 公益社団法人 日本食品衛生協会関係

開催月日	会議名等	会場	備考
H28.6.8	北海道・東北ブロック 連絡協議会	秋田県	ブロック大会提出議案等
H28.6.9～ 6.10	北海道・東北ブロック大会	秋田県	表彰、ブロック大会決議等 (本県出席者：23名)
H28.6.17	日食協総会、協同組合総代会	食品衛生センター	総会、総代会、支部長会
H28.10.6 ～10.7	北海道・東北ブロック 連絡協議会三部会長会議	山形市	指導員部会、共済部会、 事務局長会議
H28.10.20	日食協支部長会議等	食品衛生センター	協議事項等
H28.10.20	食品衛生指導員全国大会	ヤクルトホール	食品衛生指導員体験発表会・

		(東京都)	表彰式 (出席者：12名)
H28.10.21	食品衛生表彰の会	明治座 (東京都)	表彰大会 (出席者：34名)
H29.3.24	日食協支部長会議 食品衛生共済協同組合理事会	食品衛生センター	平成29年度事業計画、収支予算

3 事業関係

I 公益関係事業

(1) 食品の自主管理体制の強化推進に関する事業

① 日食協補助金に伴う巡回指導等の事業

食品衛生指導員活動状況 (別表1)

巡回指導

a 指導延べ施設数 13,757施設

b 指導員の活動延べ人員 4,854名

② 福島県費委託事業 (別表2)

ア 福島県内特産食品の製造加工施設に対する巡回指導事業

地域特産食品の振興に寄与すると共に食品の安全確保に努めました。平成23年3月の東京電力福島第一原発の事故による放射性物質の影響で県北地区のあんぼ柿加工が自粛されましたが、再開時の衛生保持の観点から施設の指導を実施しました。また、本年度も浜通りを中心に実施していた水産加工施設の巡回指導は、中止となりました。

《対象施設》

あんぼ柿加工施設、凍豆腐の製造加工施設、山菜・なめこの瓶缶詰加工施設、こんにやく粉の製造加工施設、ラーメンの製造加工施設

指導延べ施設数 1,294施設 指導員延べ人員 314名

指導延べ日数 178日

(2) 食品衛生指導員講習会等

① 食品衛生指導員事業推進研修会等

ア 日本食品衛生協会特別補助事業並びに平成28年度巡回指導事業推進のための研修会の開催

期日 平成28年6月15日

場所 ビックパレット 出席者 42名

＜研修会内容＞

a 食品衛生の動向について

福島県食品生活衛生課 副主査 深谷友香先生

b 平成28年度巡回指導の重点指導項目について

福島県食品生活衛生課 副主査 行方由美先生

イ 食品衛生指導員再教育研修会 (別表3)

平成28年度の食品衛生指導員の巡回指導における重点指導項目は①食の安全は原材料のチェックから②その記録がわが身もまもる。の項目で、各食品衛生協会ごとに研修会が行われた。

18会場、受講指導員数 延583名

② 食品衛生指導員の体験発表会の開催

○ 福島県食品衛生指導員研究集会

食品衛生指導員の業務の推進を図るため、食品衛生指導員体験発表を県生活衛生・食品衛生大会に合わせて開催しました。

期日 平成28年11月14日 (月)

場所 福島テルサ

発表者 南会津地区食品衛生指導員連絡協議会の活動紹介

効率のある指導員活動の課題
 新人指導員になって

食品衛生指導員 五十嵐芳道 (南会津町)
 食品衛生指導員 今野千栄子 (南相馬市)
 食品衛生指導員 稲田幹夫 (いわき市)

○ 全国食品衛生指導員大会

食品衛生指導員の業務の推進を図るため、本県から指導員12名が参加しました。

日 時 平成28年10月20日 (木)

場 所 ヤクルトホール(東京都)

③ 平成28年度第6回食品衛生指導員全国研修会

平成28年9月12日～13日、東京都において(公社)日本食品衛生協会主催の食品衛生指導員全国研修会が開催され、本県から指導員2名が参加しました。

《主な研修内容》

・最新の食品衛生関係情報について

厚生労働省医薬食品局食品安全部 監視安全課 様

・HACCPによる衛生管理について

・食の安心・安全・五つ星事業について (公社)日本食品衛生協会

④ 「食の安心・安全・五つ星店」の登録

新たに相馬地区及び県南地区が参加するとともに、食の安心・安全・五つ星店として71施設が登録されました。店舗の紹介が公益社団法人日本食品衛生協会のホームページに掲載されている。

⑤ 手洗いマイスターの養成(別表4)

巡回指導等において日食協が推奨する「衛生的な手洗い」を普及するため、手洗いマイスター認定講習会を開催し、107名の手洗いマイスターを養成した。合計139名となった。

(3) 食品衛生功労者及び優良施設等の表彰事業

① 県関係表彰

ア 平成28年11月14日(月)	福島テルサ	
福島県食品衛生協会会長表彰	食品衛生功労者	24名
	食品衛生優良施設	22施設
	優良食品衛生指導員	19名
	感謝状	1名
福島県知事表彰	食品衛生優良施設	10施設

② 中央関係表彰

ア 平成28年10月20日	ヤクルトホール(東京都)	
日本食品衛生協会理事長表彰	優良食品衛生指導員	5名
イ 平成28年10月21日	明治座(東京都)	
厚生労働大臣表彰	食品衛生優良施設	2施設
	食品衛生功労者	4名
日本食品衛生協会会長表彰	食品衛生功労者	6名
	食品衛生優良施設	5施設
	行政担当者(感謝状)	2名

(4) 食品の許可に係る事務指導事業

食品営業の許可申請に係る事務指導を行った。

・新規	3,048件	
・継続	5,341件	・指導延べ日数2,187日

(5) 食品、水質及び保菌検査実施の勧奨・衛生向上の支援事業

食品等事業者が行う自社製品の衛生管理の一環として、消費者のみなさまに提供する食品の安全・安心の確認検査(食品及び水質検査)実施の勧奨を行いました。検査は厚生労働省登録検査機関(食品検査)、福島県知事等の指定検査機関(水質)の公益財団法人福島県保健衛生協会で

行いました。

また、検査結果に基づき衛生管理の指導・助言を実施し、施設改善等の支援を行いました。

食品及び水質等の検査を行った施設には「平成28年度食品自主検査済証」(円形)、「平成28年度水質自主検査済証」(六角形)、「平成28年度保菌検査済証」(四角形)のステッカーを頒布し、食品及び水質の検査等の啓発に努めました。

※受検した検体数 食品7,847件 水質750件 保菌710件

※各食品衛生協会別の実施状況 別表5

(6) 食品中の放射性物質検査事業及び相談事業

平成23年7月1日より(公社)日本食品衛生協会食品衛生研究所の協力をいただき、食品中の放射性物質の不安解消の一助として食品等事業者や消費者からの検査を実施しております。

検査料金は、低額に設定してあります。

検査件数 79件 相談件数 23件

(7) 食品衛生の普及に関する事業

① 食品衛生及び食品の安全確保に関する事業

最近の食品衛生の動向及び食品の安全確保に関する講習会を福島県の後援で開催しました。

《 日時・会場 》

平成28年9月28日 白河市産業プラザ 受講者65名

《 講習内容 》

a 最近の食品衛生の動向について

福島県食品生活衛生課 副主査 本郷 貴胤 先生

b 食品の放射性物質による汚染状況と内部被ばくのリスク

東京工業大学放射線総合センター 助教 富田 悟 先生

② 食中毒予防情報普及事業

ア 食品衛生月間

8月の1ヵ月間は、食品衛生月間で、国、都道府県等が主催し、全国の食品衛生協会が協力して様々な食中毒防止の啓発を行います。当協会では、各地区食品衛生協会へ食品衛生月間ポスターを配布しました。また、各食品衛生協会では食品衛生指導員による巡回指導の実施、講習会の開催、街頭キャンペーンの実施、パネルの展示、食中毒防止ノボリの掲揚等を行い食中毒の防止を消費者や食品営業者等に広く啓発しました。

食品衛生月間ポスター 450 枚

イ 食品衛生関係ノボリの掲揚等による広報を行いました。

ウ 会報の発行

8月と1月に機関誌として会報「福島食品衛生」を各5,000部発行しました。

エ 電話による食品衛生相談の開設事業

食品営業者及び消費者からの電話による相談窓口を開設しました。

相談件数1,376件(別表6)

③ 毎月15日の「食品衛生の日」の普及事業

毎月15日を「食品衛生の日」として、食品衛生の確保と向上を目指し、会員が自己施設の衛生点検を行うため、自主管理票等を配布しました。

④ 福島県食品衛生協会推奨優良食品・優良施設・優良衛生機器類の推奨事業

会員の優良な食品、施設及び衛生機器類を広く消費者及び食品営業者等に知っていただき、特に消費者がお店の選定の目安となるよう推奨事業を行いました。

- ・推奨優良食品 35 件
- ・推奨優良施設 62 施設
- ・推奨衛生機器類 8 件

⑤ 情報提供事業

情報提供を希望する製造業等の会員に対し、メールアドレスを登録していただき、日食協や

行政からの情報を一斉送信により提供しました。

参加会員数 268 情報提供回数 57回 別表7

また、フェイスブックを開設し、地区食協も含め、活動状況の情報提供に努めました。

記事投稿回数 49回 閲覧者数 8,501名

動画投稿 4回 再生回数 2,030回

食品の安全をめぐる最新の動向と課題に関する講習会 再生回数 392回

おいしさに安心・安全を添えて

食の安心・安全・五つ星店紹介 郡山 再生回数 630回

相馬 再生回数 603回

食中毒を防ぐ！！衛生的な手洗い「奥田恵子指導員」 再生回数 405回

(8) HACCPの推進に関する事業

会員に対する情報提供のため、HACCPに関するチラシ3200枚を配布するとともに、日食協と連携し、HACCP導入を希望する会員に対し、指導助言事業を実施した。

(9) 食品衛生責任者養成講習会

27年度より福島県、郡山市及びいわき市から指定を受け実施している。28年度は計28回開催し、受講者数は2,047名となった。(別表3)

(10) 特別講演会開催等事業

① 「ノロウイルス食中毒予防と対策」にかかわる講演会

平成28年12月6日、本協会主催、いわき食品衛生協会及び(公社)日本食品衛生協会共催、福島県後援による講演会をいわき市総合保健福祉センターで開催し、119名の当協会会員や県民の方々に参加いただきました。

《講演内容》

- ・ノロウイルス食中毒対策について

福島県食品生活衛生課 副主査 深谷由香先生

- ・ノロウイルス食中毒予防のための衛生的な手洗いについて

公益社団法人日本食品衛生協会 学術顧問 丸山務先生

- ・感染を拡げないためのおう吐物の処理について

公益社団法人日本食品衛生協会 松本奈見子先生

② 食品衛生講習会等

ノロウイルス予防強化期間に合わせて、「ノロウイルス食中毒予防と対策」にかかわる講演会が各地区食品衛生協会主催で開催され、当協会が後援し、支援をしました。これら講習会には855名の当協会会員や県民の方々に参加いただきました。

また、その他各種団体等が主催した講習会等へ講師を派遣しました。(回数 2回)

③ カビ対策講演会

平成28年6月30日、コラッセふくしまにおいて、公益社団法人日本食品衛生協会主催による食品・食品製造施設をかびから守るための対策講習会が行われた。県外からも含め、116名が受講しました。

(11) 職員研修に関する事業

地区食品衛生協会事務局職員を対象とした研修会を開催し、食品衛生責任者養成講習会等の実施計画や協議事項について協議を行いました。

平成29年2月10日 郡山市 ビックアイ

<研修内容>

- ・食品、水質及び保菌等の自主検査事業について

- ・食品衛生の動向について

福島県保健福祉部食品生活衛生課 副主査 本郷貴胤様

- ・公益社団法人日本食品衛生協会の事業について

公益社団法人日本食品衛生協会 課長代理 竹部康広様

(12) (公社)日本食品衛生協会北海道・東北ブロック大会

平成28年6月9日～10日、秋田県主管で鹿角市のホテル鹿角で約300名が参加して開催されました。本県からは、23名の会員が参加しました。

また、大会席上、下記の方が受賞されました。

日食協 賠償共済事業40年記念特別表彰

伊藤 治様 (理事)

佐々木順子様 (双葉)

(13) (公社) 日本食品衛生協会北海道東北ブロック連絡協議会・三部会長会議

平成28年10月6日～7日、山形市で開催されました。

① 連絡協議会

ア ブロック大会の指導員の体験発表について

イ 日本食品衛生協会の事業、事務等の説明

ウ ブロック内の提案事項の協議

② 三部会長会議

ア 食品衛生指導員部会長会議

イ 共済部会長会議

ウ 事務局長会議

- ・ 指導員活動、共済加入促進等について協議を行いました。

(14) 他団体との連携

食品衛生に係る団体との連携を深め、食品衛生思想の普及等に努力しました。

① 日本自動販売協会と会議を開き、お互いの事業について理解を深めました。

② (公財)福島県保健衛生協会と食品等の自主検査事業等の推進について協議を行いました。

③ (公財)福島県観光物産交流協会総会、役員会へ出席しました。

(15) その他

① 平成29年1月13日(公社)日本食品衛生協会新春賀詞交歓会(明治記念館)へ会長が出席しました。

② 平成29年1月12日知事懇談会(知事公館)へ会長が招待され出席しました。

II 収益関係事業

(1) 福利厚生に関する事業(別表8)

① 食品営業賠償共済事業

被害者の救済と会員の営業の安定に備えるための賠償共済事業は、各食品衛生協会の協力を得ながら加入促進をはかりました。

加入件数6150件(目標件数に対する達成率は58.6%)

平成28年度の賠償支払件数11件 見舞金3件(別表9)

② 火災共済事業

他の保険会社の損害保障に比べ低保険料で高額な保険金が支払われる日本食品衛生協会独自の有利な共済制度ですので、この点を強調し加入促進を図りました。

③ 生命共済事業

食協生命共済はジブラルタ生命保険(株)と団体扱契約のもとに食協事業として取り組み、広報等に努めています。

(2) あんしんフード君制度説明会

平成28年8月、東京都及び仙台市に於いて、(公社)日本食品衛生協会主催による「あんしんフード君制度説明会」が開催されました。各地区食品衛生協会職員が出席しました。

(3) 食品衛生に係わる優良図書普及(別表10)

① 月刊「食と健康」等の購読及び普及推進事業

食品衛生の情報源とも言うべき月刊「食と健康」の購読促進を図りました。